

スポーツボランティア  
プログラム  
東京都障害者スポーツ大会  
「グランドソフトボール」  
2016/11/20



11月20日(日)、武蔵野中央公園で開催された東京都障害者スポーツ大会「グランドソフトボール」の競技会に、本学の学生8人が運営ボランティアとして参加しました。

視覚に障がいのある方で構成されたチームで競い合うグランドソフトボールは、誰もが公平に競技を行えるよう、様々な工夫がなされていました。



～活動内容～

この日、本学の学生は、グラウンドの整備を手伝った後、競技エリアの外に出たボールを回収する「ボールパーソン」と大会のアナウンスをする係、点数などを記録する係とに分かれて活動しました。アナウンスの係は、テレビの野球中継で見られるのと同様、選手の名前や背番号をお伝えしました。

午前の決勝戦が終わると、交流会として、学生ボランティアも選手として競技に参加しました。転がってくるボールをバットで打つのは、想像していたよりもずっと難しく、視覚に障がいのある人が試合でポンポン打っていたことが、日々の努力の結晶であることを強く認識できました。

～参加した学生の声～

- ・グランドソフトボールという未知の世界に触れ、自分自身も楽しんでボランティアという立場で参加することが出来た。障がい者スポーツへの興味関心も高まった。
- ・今の日本では、障がい者スポーツが注目を浴びてきたとはいえ、まだあまり知られていない種目があったり、興味があってもそれがボランティアをするということに繋げることが出来ない人が多いと思われる。なので、今後も積極的に活動をしているようなことを学ぶとともに、障がい者スポーツやボランティアの魅力を、他の人々に広めていきたい。
- ・ボランティアの役割はスポーツを頑張る人、応援する人が楽しめるようにサポートする事だと今回感じたので、次からの活動も楽しみつつ精一杯サポートを行いたい。
- ・ボールを投げる動作などの些細な事でも音をなるべく殺して投げたり、変化球を投げたりと工夫が凝らしてあり、奥の深い駆け引きが楽しめるスポーツだと感じた。